

スポーツ振興の課題について

岩手国体は市民と一体で開催



高橋 久順 議員
(平和環境市民クラブ)

Q 平成28年岩手国体の準備に向けた組織体制と市民のかかわり方および施設整備の計画と経費に

ついて伺う。本市出身の選手が国体に出場できるような選手強化策、競技力向上対策と、それに伴う指導者の資質向上に向けた市独自の指導者養成研修会計画などはあるのか伺う。また、全国大会で審判ができる地元審判員を養成するため種目別に

協会と連携した審判養成講座の開催について伺う。**A(まちづくり部長)** 来年度は、専任部署を設置するほか、競技団体で構成する実行委員会を設立する予定。岐阜県でのおもてなし応援隊やおもてなしコーナーを参考に、市民と一体となった歓迎

体制を構築したい。施設整備に係る経費は約6億円、運営費は約5億円を見込んでいます。選手強化策として、県の事業活用や全国大会への出場費用の支援などの強化に取り組む。指導力向上のため、県主催事業への参加を呼びかけるとともに、開催競技中心に講習会などを計画している。また、競技役員や各競技団体の育成を促進するよう要望していく。



岩手国体に向け選手強化策が望まれる

クリーンエネルギーの導入推進

クリーンエネルギーギー転換を期待



鎌田 幸也 議員
(花巻クラブ)

Q 原子力発電所の廃止は、地球温暖化ガス(CO2)の削減と相反し、現実的ではないとの意見があ

るが、市長の考えを伺う。**A(市長)** 東日本大震災の経験から、あらためて電力の恩恵と原子力の危険性の大きさを認識した。特にも原発は、最も効率の良い発電といわれる一方事故の際には最も危険が大きい施設である。原発からクリーンエネルギー

ギーへの転換の方向性は民意であると考えられるべきと考える。**Q** 6月定例会において、振興センターなど17の公共施設に太陽光発電パネルと蓄電設備を設置するとの計画が示されたが、

何ら工事が進んでいない現状に見受けられる。その理由は何か。また、計画どおり本年度中に設備の設置はなされるのか。**A(生活福祉部長)** 公共施設の太陽光発電設備導入の遅延は、県が補助金交付に係る要綱等の改正について検討中とのことであり、設置できない状況である。現状では本年度中の事業実施は難しく、繰り越しも視野に入れて検討を進めている。



公共施設に導入した太陽光発電パネル(東和小学校)

松くい虫対策の現状と見通し

下刈、枝打ち、除間伐の実施を



中村 初彦 議員
(明和会)

Q 本年度の森林病害虫防除費の県補助金は、4657万4000円であり、事業費は前年の3分

の2強となっている。松くい虫の防除・駆除の現状補助金の事業への影響、次年度対策の見通し、また、山林所有者自らを取り組む方策についての考えを伺う。**A(市長)** 松くい虫の監視は、市独自に森林組合等に委託し、県監視員と

ともに調査している。市民からも情報を得て所有者を確認、同意を得て被害木伐採と薫蒸等を委託。市は公園等公共施設の薬剤樹幹注入で予防。また市民に薬剤費半額を助成する。県補助金減少で駆除量は減少。県にいわての森林づくり県民税を活

用する事業費増を要望。林家に下刈、枝打ち、除間伐で被害に強い森林を要請していく。**Q** 市有林1213町歩、分収林593町歩余りの育林方針と経営計画に関する考えを伺う。**A(農林水産部長)** 植林した経過年に応じて、下刈り、枝打ち、除伐を計画的に実施し、健全な市有林育成を図っていく。



松くい虫の被害拡大を防ぐ伐採・薫蒸作業

医療と介護との連携の現状は

看取り介護は17施設で実施



藤井 英子 議員
(平和環境市民クラブ)

Q 介護保険施設での終末期ケアの現状について、高齢化が進む中、医療や介護の人手不足を危ぶむ

声がかえ、終末期ケア・看取り・終活(※)と、ひとつとではなく、避けて通れない状況である。市内の介護施設において、今いまの状態のときに救急搬送や施設で最期を迎えるなどのケースがあると、思うが、その「看取り」の現状はどうなっているか。

A(生活福祉部長) 看取り介護体制を確保している入所施設では、指針を定め契約病院等との連携体制を確保し、入所の際に入所者やその家族から同意を得て実施している。厚生労働省令に定める看取り介護ができる施設は、介護老人福祉施設、介護

老人保健施設、認知症グループホームに限定され、現在32施設のうち17施設で行っている。**(仮称)青年議会の開催****Q** 若い世代の声とパワーを市政に生かすために青年議会を開く考えはないか。**A(政策推進部長)** 若い世代の市政参画は重要と認識しており、今後は自由に見解が言える円卓会議の開催を計画していく。



介護保険施設では看取り介護等を実施している

※「終活」とは、人生の終わりのための活動。自分の人生の終え方を決める準備等をする。また、それによって今をより良く生きること。